

Y-PORT 事業を通じて、横浜市内中小企業が 外務省・JICA の中小企業海外展開支援事業（6 件）に着手しました。

外務省と JICA が進める中小企業の海外展開を支援する事業において、Y-PORT 事業による都市間協力や水ビジネス協議会等での活動を通じて、今年度、市内中小企業等が調査・事業（合計 6 件）に着手しました。横浜市は、引き続き市内中小企業の海外展開を支援してまいります。

- 外務省 ODA を活用した中小企業等の海外展開支援ホームページ URL :

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/seisaku/kanmin/chusho.html>

- JICA 中小企業支援事業ホームページ URL

http://www.jica.go.jp/sme_support/index.html

1. Y-PORT 事業における都市間協力の枠組みを生かした展開

受託企業名	コンサルティ ング会社	対象 国	企画名	発注者	事業名
(株)オオスミ*	日本工営(株)*	ベ ト ナム	簡易測定法を用いた省エネ診断・対策提案事業及び環境教育推進の案件化調査	外務省	平成 25 年度政府開発援助海外経済協力事業委託費による「案件化調査」
アムコン(株)*	(株)エックス都市研究所	フィ リ ピン	セブ市浄化槽汚泥の脱水装置の普及・実証事業	JICA	平成 24 年度第 1 回民間提案型普及・実証事業
萬世リサイクルシステムズ(株)	カーボンフリーコンサルティング(株)*	フィ リ ピン	セブ市資源循環推進事業創出に関する普及・実証事業	JICA	平成 24 年度第 1 回民間提案型普及・実証事業

※横浜水ビジネス協議会会員企業（下表も同様）

事業の背景・概要：Y-PORT 事業(横浜の資源・技術を活用した公民連携による国際技術協力)で都市間の技術協力を進めているフィリピン国セブ市とベトナム国ダナン市において、横浜市と企業との合同調査(現地調査や現地行政や商工会議所などのビジネスマッチング)や国内ワーキングを通じて、市内中小企業 3 社の調査や実証事業が採択されました。

オオスミ(株)は、ベトナム国の大気汚染の改善に貢献するため、簡易計測法による環境分析で工場等の省エネ診断・対策検討をパッケージで提供する事業の実現可能性に関する調査を予定しています。アムコン(株)及び萬世リサイクルシステムズ(株)は、昨年度実施したフィリピン国セブ市での外務省委託費による案件化調査等の成果が評価され、引き続き汚泥脱水装置による浄化槽の汚水処理と廃プラスチックのリサイクル技術による廃棄物最終処分場の改善に向けた実証事業に取り組みます。

※各事業の詳細は別添の参考資料を参照ください。

2. 横浜水ビジネス協議会の支援による会員企業の展開

受託企業名	コンサルティング会社	対象国	企画名	発注者	事業名
水道テクニカルサービス(株)※	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ(株)	インド	上水道漏水探知サービスの案件化調査	外務省	平成 25 年度政府開発援助海外経済協力事業委託費による「案件化調査」

事業の背景・概要：横浜市と 150 を超える会員企業等で構成する横浜水ビジネス協議会が、平成 24 年度に中小企業ワークショップ(計 3 回)を開催し、市内中小企業を対象にシーズ技術とインド国等での上下水道分野の開発課題・ニーズに関する情報交換を重ねました。この過程で有効性が期待された水道テクニカルサービス(株)の上水道漏水対策技術を生かした事業の実現可能性に関する調査を予定しています。

※各事業の詳細は別添の参考資料を参照ください。

3. 横浜ウォーター(株)の参加により横浜市の水道事業のノウハウを活用する展開

受託企業名	コンサルティング会社	対象国	企画名	発注者	事業名
(株)グッドマン※	横浜ウォーター(株)※	インドネシア	樹脂管に特化した漏水探索器を使用した無収水削減対策及び配水管網維持管理の普及・実証事業	JICA	平成25年度第1回民間提案型普及・実証事業
日本原料(株)※	横浜ウォーター(株)※	フィリピン	移動式砂ろ過浄水装置及びろ過池更生システムの普及・実証事業	JICA	平成25年度第1回民間提案型普及・実証事業

事業の背景・概要：本市水道局が 100%出資する横浜ウォーター(株)は、横浜水ビジネス協議会会員である中小企業と共に、JICAが実施する民間提案型普及・実証事業に参加します。途上国のニーズに合致する、優れた技術を持つ中小企業2社と連携して、これまで信頼関係を築いてきたインドネシア及びフィリピンにおいて、現地の課題解決を支援します。

※事業内容の詳細は、横浜市記者発表(平成 25 年 11 月 12 日水道局「横浜ウォーター(株)が優れた技術を持つ中小企業と共に、途上国の課題を解決します ～国際協力機構(JICA)民間提案型普及・実証事業の採択～」を参照ください。

お問合せ先

Y-PORT 事業について： 政策局共創推進室国際技術協力課担当課長 折居良一郎 Tel 045-671-4393
 横浜水ビジネス協議会について：環境創造局下水道計画調整部下水道事業推進課長 中村永秀 Tel 045-671-2940
 横浜ウォーターについて： 水道局事業推進部国際事業課長 山口俊宏 Tel 045-633-0115

Y-PORT 事業を通じた市内中小企業の海外展開
 (平成24年度第1回民間提案型普及・実証事業 (JICA運営費交付金事業)、
 平成25年度政府開発援助海外経済協力事業委託費による「案件化調査」(外務省委託費事業))

1. Y-PORT 事業における都市間協力の枠組みを生かした展開

企業名：株式会社オオスミ、日本工営株式会社

環境計測技術で省エネ・環境改善を！

ベトナム国では2012-2015年を対象期間とした省エネ法が策定されましたが、省エネや大気汚染の状況を定量的に把握するには、一般的に高い技術力が必要でありコストを要するため、計測・モニタリングが十分に行われていないこと等が課題になっています。今回の調査では、ダナン市の省エネ管理と環境管理(大気汚染など)能力の向上を目的に、オオスミの提案する簡易な計測技術を用いて、市内工場の燃焼施設(ボイラー等)の省エネ診断等を行ない、その普及可能性に関する調査を予定しています。



(左) 工場の調査、(右) 検知管調査によるガス測定

企業名：アムコン株式会社、株式会社エックス都市研究所

汚水処理技術で衛生環境の向上を！

フィリピン国セブ市は人口80万人の都市ですが下水処理場の整備がされておらず、各家庭等の浄化槽に溜められた汚水はバキュームカーで引き抜かれた後にそのまま最終処分場に排出されています。このため、衛生面において深刻な環境問題を引き起こしています。アムコンは、平成24年度の外務省委託費「途上国政府への普及事業」に採択され、同社が独自開発した脱水機で河川に放流できるレベルの処理水とコンポスト利用するための脱水ケーキに分離処理することの可能性を調査しました。今年度は、引き続きJICA 民間提案型普及・実証事業において、セブ市で発生される大量の汚水を処理できる大型装置・施設を設置し、長期にわたって事業を実施する場合の安定した運転・管理・処理・リサイクル方法の確立にむけた実証事業を予定しています。



(左) 実証事業予定地 (H24 年度セミナーの様様)、(右) 汚泥脱水機

企業名：萬世リサイクルシステムズ株式会社、カーボンフリーコンサルティング株式会社

横浜で培った廃プラスチックのリサイクル技術の導入！

フィリピン国セブ市では、経済成長と人口増加に伴い廃棄物が増加しています。一方で、資源ゴミとしての廃プラスチックが十分にリサイクルされていません。萬世リサイクルシステムズは、平成24年度の外務省委託費「案件化調査」に採択され、同社の廃プラスチック由来のフラフ燃料を製造する技術や中間処理施設運営ノウハウ等をセブ市の廃棄物処理の課題解決に活用するための調査を行いました。今年度は引き続き JICA 民間提案型普及・実証事業において、セブ市所管の廃棄物最終処理埋立場（イナヤワン衛生埋立地）内に中間処理施設を設置して、廃プラスチック燃料化のためのリサイクル処理を施し固形燃料（フラフ燃料）を製造することで、リサイクルシステムの確立に向けた実証事業を予定しています。



(左)セブ市イナヤワン衛生埋立地、(右)廃プラスチックから製造された固形燃料（同社工場）

2. 横浜水ビジネス協議会の支援による会員企業の展開

企業名：水道テクニカルサービス株式会社、エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社

横浜企業による漏水検知システムの検証・提案

インド国バンガロール市では、近年の急激な経済発展・人口増加に伴う水需要の増加に施設整備が追いついておらず、水量・水質及びサービスの面で依然として数多くの問題を抱えています。具体的には、水源（水量）の確保、水質の向上、老朽化した水道管における漏水防止対策、また、次なる課題として給水サービス面における輪番制給水から24時間給水への移行などが挙げられます。今回の調査では、水道テクニカルサービスが保有する漏水防止技術並びにシステムを用いて、バンガロール市において直面する漏水状況を調査すると共に、効果的・継続的に漏水を防止し無収水量を削減するシステムを提言することを予定しています。



(左) 監視機器により発見された漏水箇所の補修、(右) 量水器内に設置した漏水監視装置